

拝啓

紫陽花の花がきれいな季節となりました。

この度、無事に支援を卒業させて頂く事となり、

先生方には感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございました。

6月18日で、ちょうど復学して1年がたちました。

お陰様で、中学3年になった娘は、不登校だった

のがうそのように、毎日楽しく学校生活を送って

いるようです。

復学するまでは、“ちゃんと学校に戻れるのかな…”と

不安な気持ちだったのを思い出します。

思い返せば中学1年の秋、それまで何の問題も

なく、楽しんで中学生生活を過ごしていた娘が、

友達とのトラブルがきっかけで学校を休みがちに

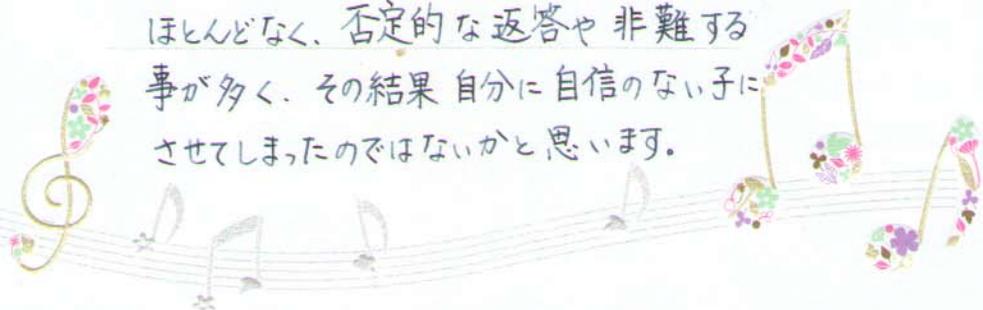
なっていました。



しばらくして、友達から和解を申し入れてくれたので、「これで大丈夫だな」と安心したのも束の間、なかなか継続して登校できない状況が続きましたが「2年になったら行く」と言う娘の言葉を信じて、望みを託しました。2年生になり、調子良く行き始めたので、「今度こそ大丈夫かな」と思っていた矢先の4月末、再び休むようになってしまいました。

幸いな事に、友人から不登校支援をして頂ける機関がある事を教えてもらっていたので、すぐに相談させて頂きました。そして、そちらから水野先生をご紹介頂き、支援をお願いしました。

こうして家庭教育を勉強するようになり、いかにひどい会話をしていたか思い知らされる事になりました。子供の言う事に対して共感する事などほとんどなく、否定的な返答や非難する事が多く、その結果自分に自信のない子にさせてしまったのではないかと思います。



親が感情的になれば子供は当然反発する。

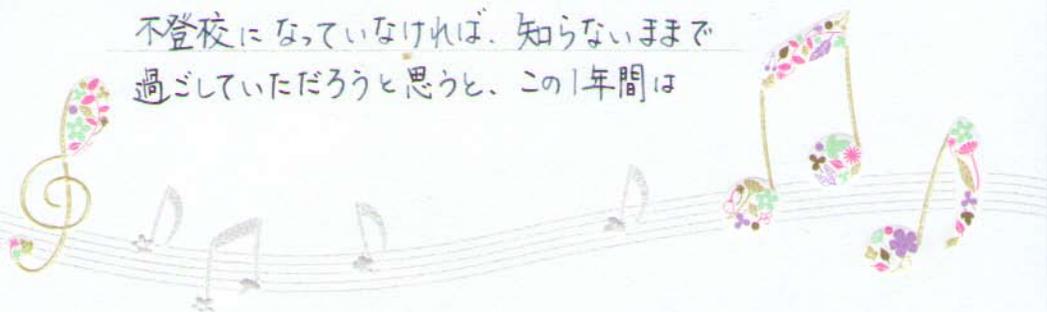
それに対して「何! その口のきき方!!」と更に感情的になってしまう…の悪循環の繰り返しでした。

家庭教育を学んで、まず共感し、メシテイ(命令・指示・提案)を減らし、アイメッセージの会話にすると、娘も穏やかになっていき、「お母さんとこの頃けんかしなくなったなあ。」と言うようになりました。

学校を休み出した頃の娘は、自分で物事を悪いように考え気味でしたが、最近ほポジティブに考えられるようになり、自己肯定感や向上心も上がってきたように思います。

親が変われば子供も変わる…娘の不登校を通じて、親である私たちが、家庭教育の大切さを改めて認識する事ができました。

不登校になっていなければ、知らないままで過ぎていただろうと思うと、この1年間は



これからの人生においても、本当に貴重な体験をさせて頂けたと感謝しています。

来春は娘も高校受験です。これからも学んだ事を忘れずに娘をサポートしていきたいと思ひます。そして自分の引き出しをもっともっと増やせるよう更に努力していきたいです。

最後になりましたが、水野先生 本当にお世話になりました。ありがとうございました。

先生、先生にもくれぐれもよろしくお伝え下さい。

これからも先生方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

2011. 6. 20

